

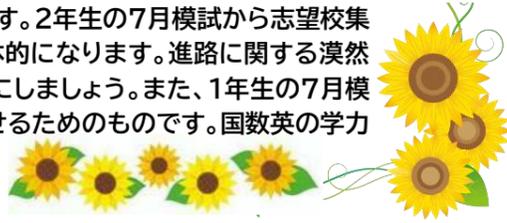
掴め君の未来を！

令和4年夏休み号

慶進中学校・高等学校
進学指導部
令和4年7月20日発行



3年生は、三者面談を経て志望校が確定し、これからやるべきことがはっきり定まりますね。期末試験後からすでに「夏休みの学習計画」を立案し、実行していることだと思います。自分に言い訳をしてできないことを正当化するのではなく、最大限の努力を継続して、自らがやるべきことに邁進してください。学校全体で応援しています！ 1・2年生は7月進研模試の成果はいかがでしょうか。模試の出来を踏まえて、1・2年生も「夏休みの学習計画」を立てましょう。「夏休みの学習計画」を立案する際には、いつまでに何をするかなど具体的な計画にすることが大切です。2年生の7月模試から志望校集計がスタートします。志望校があることで学習計画もより具体的になります。進路に関する漠然とした目標を、志望校という具体的なものに変えるきっかけにしましょう。また、1年生の7月模試は自分の学力を把握し、高校生としての学習習慣を定着させるためのものです。国数英の学力を全国と比較することで自分の立ち位置を認識しましょう。



●大学入試トピックス

① 国公立大学2023年度入試(現3年生が受験する入試)の変更点 (旺文社教育情報センターの記事より抜粋)
2023年国公立入試の志望動向に影響しそうな変更点の一部を掲載します。掲載内容は、昨年度末まで判明していた変更点です。各大学が6～7月に発表する「選抜要項」、10～12月に発表する「募集要項」などで、必ず内容を確認してください。

●学校推薦型・総合型選抜の変更・・・名古屋大-工の2つ学科で、共テを課す推薦型に「女子枠」を新設する。岡山大では、文で共テ免除推薦を廃止し、共テを課す総合型を新規実施する。横浜国立大-経営で共テを課す総合型を廃止し、共テ免除推薦型の募集枠を拡大する。この他、山陽小野田市立山口東京理科大-工で共テ免除総合型を、薬で共テを課す総合型を新規実施する。

●新增設・改組・・・要注目は、ここ数年で新設が相次ぐ情報科学系の学部増設である。一橋大が「ソーシャル・データサイエンス学部」、名古屋市立大が「データサイエンス学部」を新設。一方で、一橋大の既存4学部は定員減となることもあり、首都圏の志願動向にやや影響しそうだ。私立の旭川大が公立大学法人化し、「旭川市立大」となる予定。また、名桜大では「国際学群→国際学部」への改組と、学科増設(人間健康-健康情報)を予定している。この他、大分大-医で「メディカル・イノベーション学科」を増設。高知工科大で「環境理工学群→理工学群」に改組。一方、東京学芸大-教育で、教員養成課程を「4→1」に統合される。

●日程・募集人員の変更・・・一般選抜の日程変更では、岡山大が全学で後期募集を停止する。関西～中国・四国の難関～準難関校の貴重な併願先ただけに影響は大きく、2023年国公立大入試で最大の変動要因と言っても過言ではない。広島大・徳島大の後期、大阪公立大・兵庫県立大の中期・後期の志願者増に結びつきそうだ。

② 下関市立大学の総合大学化について (「下関市立大学入試説明会動画」の復伝)
現在、経済学部のみ単科大学である下関市立大学ですが、今後データサイエンス学部(仮称)と看護学部(仮称)を設置し、総合大学化する予定です。 ※2つの学部の設置については、設置構想中であるため、以下の内容は今後変更となることがあります。

- データサイエンス学部(仮称)・・・設置:2024年4月(予定)、定員80名(予定) ←現高校2年生から入学可能となる予定
- 看護学部(仮称)・・・設置:2025年4月(予定) ←現高校1年生から入学可能となる予定

●いよいよ動き始める入試～総合型選抜、学校推薦型選抜

9月に入ると、総合型選抜(旧 AO 入試)の出願が始まります。総合型選抜とは、志望理由書などの受験生からの提出書類のほか、面接や論文、プレゼンテーションなどを課し、受験生の能力・適性や学習に対する意欲などを、時間をかけて総合的に評価する入試方式です。他の入試方式に比べると、出願時に受験生自身が作成して提出する書類が多いことも特徴です。国公立大学の総合型選抜では、1次:書類審査、2次:面接(プレゼンテーションも含む)・小論文といった選抜型タイプが一般的です。また、基礎学力を測るために、共通テストを課す大学は増加傾向にあります。共通テストを課さない総合型選抜の出願は、資料1の山口大学の例にもあるように、9月に入ってすぐに出願が始まる大学もあります。「志望理由書」や「自己PR書」などの提出書類を早めに完成させましょう。

また、学校推薦型選抜(旧推薦入試)の校内選考が9月に行われます。学校推薦型選抜の校内選考の日程を、資料2で示しています。詳細は4月に配布した保護者宛文書で発表していますので、必ずそちらで確認してください。

資料1 近隣大学の総合型選抜(共テを課さない方式)の日程

大学名	出願期間	試験日	合格発表日
山口大	9/1～9/5	9/28～30	11/1
九州大	9/7～9/10	10/30-31	11/19
山口東京理科大	9/1～9/7	10/1	11/1
北九州市立大	9/1～9/7	9/23(一次)	11/1(最終)

※各大学の募集要項で最終確認してください。

資料2 学校推薦型選抜の校内選考日程

8月1日(月):推薦希望調査票 提出締切
8月下旬:国公立大学推薦希望者学校面接(全員)
9月1日(木)・2日(金):【3年生全員】実力テスト5教科
9月2日(金):【短大・専門学校】指定校推薦希望者】漢字・英単語テスト
9月7日(水)～16日(火):指定校・姉妹校推薦の校内選考
(大学)○実力テスト300点分
○調査書100点
○競合の場合のみ、学校面接50点 以上の総合評価で選考
(短大・専門学校)○テスト200点(漢字・英単語)
○調査書100点 以上の総合評価で選考
※ 国公立大学の推薦希望者は、出願人数に制限があり競合した場合のみ実力テストの得点を選考に用いる。
9月16日(金)校内選考結果発表
9月26日(月)指定校第2回進路希望調査票 提出(希望者がいない大学のみ)
9月30日(金)校内選考結果発表(早まる場合もある)
以後、希望者のいない大学への希望については先着順で校内選考する

●先輩の合格体験記

総合型選抜(旧 AO 入試)で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載しています

横浜国立大学都市科学部 (中高一貫コース卒業)	山口大学教育学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学経済学部 (グローバルコース卒業)
【後輩へのメッセージ】 受験期では大変でつらいことも多くあると思いますが、「現役で第1志望に行く!」という熱い思いで頑張ってください!!	【後輩へのメッセージ】 総合型選抜を攻略していく上で重要なことは「長期的な対策をしていく」ことです。その対策は3つあります。①本を読む、②ニュースに触れる、③イベントに参加する、これらのことを1年生の頃からコツコツ頑張りましょう!	【後輩へのメッセージ】 まずは自己分析をしてみてください。自分の好きなことや将来の夢と、学びたいこととの関係性などが分かってきます。私は地元に貢献したいという思いから、志望大学を決定しました。また、地元大学研究会に入り、担当の先生と面接練習や小論文添削、グループディスカッションの練習に励みました。また志望大学に通っている慶進のOGと話をする機会があったり、大学教授の講義を聞いて講義等理解力試験の練習ができました。
【共通テスト直前の心境】 とにかく落ち着くために事前に決めていた「やる事リスト」をこなして勉強しました。そして当日も緊張そうだと思ったので、前日の昼までに意図的に緊張しておきました。	【学校生活や部活で頑張ったこと】 生徒会とディベート部に所属しました。生徒会では、地元企業の方々と交流したり、慶進祭で企画部を立ち上げ、リーダーとして活動したりしました。ディベート部では、パブリックディベート大会で優勝したり、志ミーティングに参加して山口県知事などにプレゼンテーションをしたりしました。	【校外活動で頑張ったこと】 郷働ネットや地域のボランティア活動に積極的に参加して、様々な経験を積みました。特に地域活性化のための活動に力を入れました。例えば宇部祭でタビオカドリリンクを販売したり、地域の企業を学校に招いてスイーツを販売するイベントを企画したりしました。これらの経験から、創造力が身につきました。
【後悔していること】 高3の春休みから受験勉強を本格的に始められたら良かったと思います。大学でやりたいことを考え、志望校・学部を決め、合格のために何が必要でどう勉強していくか方向性を早めに考えておくのと良いと思います。そこに私は時間を取られました。	【良かったこと】 良かったことは、生徒会で出会った戦友たちと一緒に入試に向けて高め合えたことです。情報後悔したり、志望理由書を見せ合ったりしたことは良い対策になりました。	【良かったこと】 良かったことは、生徒会で出会った戦友たちと一緒に入試に向けて高め合えたことです。情報後悔したり、志望理由書を見せ合ったりしたことは良い対策になりました。

●“英語外部検定利用入試”を徹底利用

(「蛭雪時代 2022年5月号」の記事をもとに作成)

外検入試とは、英検(実用英語技能検定)や TOEFL、TOEIC、TEAP などの英語の検定試験(外部検定)を受検して、その成績やスコアを持っている人を対象として、各大学の入試で、受験生の英語の学力を、外部検定の結果を用いて判断するというものです。2022年度の一般選抜、学校推薦型選抜・総合型選抜において、何らかの形でこの外検入試を行った大学は、424大学(全入試合計)にのぼっています。外検入試は以下の4つのパターンで実施されています。

- ① 出願資格として、各大学が指定する外部検定の級やスコアの保有を義務づけているパターン。この場合、英語の試験を免除され、独自試験を英語以外の教科で受験できる場合が多く、その教科に絞った対策が可能となる。
- ② 保有している外部検定の級やスコアのレベルが、共通テストや独自・個別試験の点数に換算されるパターン。レベルによっては「満点」に換算されるケースもあり、実質的に英語の試験が免除となる。
例)英検2級保持⇒英語の個別試験の「80点」に換算、英検準1級保持⇒英語の個別試験の「100点」に換算
- ③ 受験生が保有している外部検定の級やスコアに応じて、共通テストや個別試験の得点に対し、決められた点数が加算されるパターン。得点換算と同様、英語力に自信がある受験生にはメリットがある。
例)英検2級保持⇒総合点に10点プラス、英検準1級保持⇒総合点に20点プラス
- ④ 大学が指定する外部検定の級やスコアを保有している場合、出願書類の評価や可否の判定での優遇が得られるというパターン。
例)英検2級以上保持の場合、「合否判定の参考とする」など。

本番の入試では、英語の試験は一発勝負ですが、外部検定なら事前に複数回チャレンジでき、最も高い級やスコアを利用できます。大学指定の級やスコアを上回れば、英語の試験が免除、あるいは高得点に換算・加算される場合もあります。外検入試を有効利用し、志望校合格を勝ち取りましょう!

●地元大学説明会を実施しました

6月13日(月)～16日(木)に、姉妹校を含む地元の大学の先生をお招きし、校内説明会を実施しました。この説明会は、様々な大学の魅力を伝える、自らの進路選択を考えさせる取り組みとして、進学指導部主催で実施しています。各大学の説明会には多くの人が参加し、各大学の学部・学科の概要や入試制度などの説明を聞き、



夏休みの進学スケジュール

- 【7月】
21日(木)・22日(金)・25日(月) 保護者会・三者面談
26日(火)～8月3日(水) 夏季課外【前半】
- 【8月】
1日(月) 高校登校日
第2回進路希望調査票提出(Ⅲ年)
- 2日(火)・3日(水) 全統共通テスト模試(Ⅲ年希望者)
- 22日(月)・23日(火) 全統記述模試(Ⅲ年希望者)
- 22日(月)～26日(金) 夏季課外【後半】
- 23日(火) 面接マナー講座(Ⅲ年希望者)
- 24日(水)～26日(金)・29日(月)
学校推薦型入試 校内選考学校面接